

KIM, WON-HO
SONG, MANHO
PARK, JONG-KIL
CHUNG, WOO-HOON
CHOI, HYUNSECK
KIM, JAEMAN
KIM, WONGUN
OH, WONSEOK
LEE, WONIL
KIM, EUNJIN
BECK, LAK-SHINE
KIM, TAE-YOON
LEE, BONG-YOUNG
KWON, SUKHEUM(& US)
KIM, CHIN-HI
LEE, JIEUN
LEE, HYESOOK
PARK, JONGHA
KIM, CHANG-HYEON
KIM, INHAN
KIM, DONGMYUNG
KIM, BOO-SEON
LEE, YONG-KYOO

YOU ME PATENT & LAW FIRM

(Incorporating Mutual IP Law Office & PanKorea int'l IP Law Office)

MAILING ADDRESS:
CENTRAL P.O. BOX 8633, SEOUL 100-866, KOREA
SEOLIM BLDG., 648-10 YOKSAM-DONG, KANGNAM-KU
SEOUL 135-080, KOREA
PHONE: + 82 2 3458 0727 FAX: + 82 2 553 5264
EMAIL: email@youme.com URL: http://www.youme.com

Other Offices: Daejeon and Beijing

KIM, JAE-HEUNG
BAE, SUNG-EOK
LEE, SEOK-AN
KIM, HYUN-SCC
KWON, DOO-SANG
SUH, CHANGHWAN
KANG, SEUNG-HEE
KIM, DONGJUNE
CHEONG, KYOUNG-DOO
KANG, SUN-NYEONG
CUI, JINHUA(CN)
KIM, DONGGYUN
HAN, SEONG-HO
KIM, BYOUNG-JIN
CHOI, YOUNGLAN
HAN, GYUNGHWA
CHEON, MIN-JEONG
JUL, JAE-YEON

Anomysa at Law
JIN, JIMIN(CN)
KIM, DAVID HUNJOON(US)
PARK, JOHN SANGHO(AU)

曾我特許事務所
所長弁理士 曾我 道照 先生
〒100-0005
日本国東京都千代田区丸の内3-1-1
国際ビル8階



2005年1月10日
via fax(全5枚)/mail
(+81 3 3214 6793)

YOU ME特許法
弁理士 鄭 禹 燕

件名：韓国特許出願第 2003-0049313 号
発明の名称：磁気検出装置
出 願 人：三菱電機株式会社
Your Ref.: FAM-10550 TOK/MK
三菱電機Ref.: 539895KR02
Our Ref.: IPP030625JP(P-2003-33)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標題の件につき、2004 年 12 月 14 日付の意見提出通知書が参りましたので、意見提出通知書写しに訳文を添えてご報告致します。

今般の拒絶理由に対し、添付の弊所コメントをご検討の上、貴意見をお送り下さいますようお願い申し上げます。

本件に関する意見書提出期限は、2005年2月14日ですので、2005年1月31日までにご返事下さいますようお願い申し上げます。また、本願対応の外国出願が公告あるいは登録されている場合には、その公報をご送付願います。

意見書提出に関する期間延長は、毎回一ヶ月単位で回数に関係なく延長申請することが出来ます。

敬具

- 同封物： 1. 弊所コメント
2. 意見提出通知書写し及び同訳文
3. 引用参証写し

各 3 部
3 部

KEJ/PJS/mn
IPP200306251CPNO_050110.DOC

BEST AVAILABLE COPY

韓国特許出願第 2003-0049313 号
Your Ref. : FAM-10550 TOK/MK
三菱電機 Ref.: 539895KR02
Our Ref. : IPP030625JP
(旧 Ref.:P-2003-33)

弊所コメント

拒絶理由項目 1 と関連して

本願発明の磁気検出装置を図 1 を参照してみると、第 1 及び第 2 の磁電変換素子から構成された処理回路部と、上記第 1 及び第 2 磁電変換素子に磁界を印可する磁石と、上記磁石からの磁束が分散されることを防止する為の磁性体ガイドを備えている反面、引用参証の動作量の磁氣的検出装置は図 1,4,5 を参照するとコード板、ヨーク部材、永久磁石、出力ユニット、コイル、制御回路から構成されているものと思われます。このような両発明の構成で、引用参証では本願発明の磁性体ガイドについては全く言及されていないものと思料されます。従って、上記磁性体ガイドを請求している本願発明第 3 項を第 1 項に付加する方案をご検討下さいますようお願い申し上げます。また、引用参証に対比される本願発明の別の特徴についてご説明下さいますようお願い申し上げます。

拒絶理由 2 と関連して

韓国特許実務においては、“ほぼ”のような用語を請求の範囲で使わないよう勧告しています。従って本願発明の請求の範囲で“ほぼ”の用語を削除することをご提案申し上げます、また構成要素間の相互関係については弊所で意見書を通して審査官を理解させるように致します。

(訳文)

発送番号： 9-5-2004-052956568 受信： ソウル特別市江南区駅三洞649-10瑞林ビル12階
発送日付： 2004.12.14 YOU ME特許法人
提出期日： 2005.02.14 135-080

特 許 庁 意 見 提 出 通 知 書

出 願 人 名 称 三菱電機株式会社 (出願人コード: 5-1998-096091-9)
住 所 日本国東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号

代 理 人 氏 名 YOU ME 特許法人
住 所 ソウル特別市江南区駅三洞 649-10 瑞林ビル 12 階

出 願 番 号 10-2003-0049313

発 明 の 名 称 磁気検出装置

この出願に対する審査の結果、次のような拒絶理由があるため、特許法第 63 条の規定によりこれを通知しますので、意見がある場合や補正が必要な場合には上記期日までに意見書〔特許法施行規則別紙第 25 号の 2 書式〕または/および補正書〔特許法施行規則別紙第 5 号書式〕を提出して下さい（上記期日に対して毎回一ヶ月単位で延長を申請することができ、この申請に対して別途の期間延長承認通知は行いません）。

〔理由〕

本出願の特許請求の範囲全項に記載された発明は、その出願前に本発明が属する技術分野で通常の知識を有する者が下記に指摘したことにより容易に発明することができるものであるため、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができません。

本出願は特許請求の範囲の記載が下記に指摘した通り不備であるため、特許法第42条第4項第2号の規定による要件を満たさないので特許を受けることができません。

- 下記 -

1. 本願発明の請求の範囲全項は磁気検出装置に関するもので、縁部に凸部が形成されており、磁性移動体から離れており、ブリッジ回路を有する処理回路部、磁石などから構成されたことを特徴とするが、これは動作量の磁氣的検出装置に関するもので凸部から形成されたコード板、ヨーク部材、永久磁石、出力ユニット、コイル、制御回路などから構成されたことを特徴とする引用参証(日本特開昭58-96212号)からこの技術分野で通常の知識を有する者であれば本願を容易に発明できるものと判断されます。

2. 本願発明の請求の範囲第1項では、ほぼなどの記載が不明瞭であり、処理回路部、磁石などの構成要素及び構成要素間の相互関係についての記載が不明瞭であり、発明が明確に簡潔に記載されていません。

〔添付〕

添付 1 引用参証：日本特開昭 58-96212(1983.06.08) 1 部.

以上。

2004.12.14

特許庁

電気電子審査局
電子審査担当官室

審査官 金 宰 門

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 58-096212

(43)Date of publication of application : 08.06.1983

(51)Int.Cl.

G01D 5/20

(21)Application number : 56-194306

(71)Applicant : MINOLTA CAMERA CO LTD

(22)Date of filing : 02.12.1981

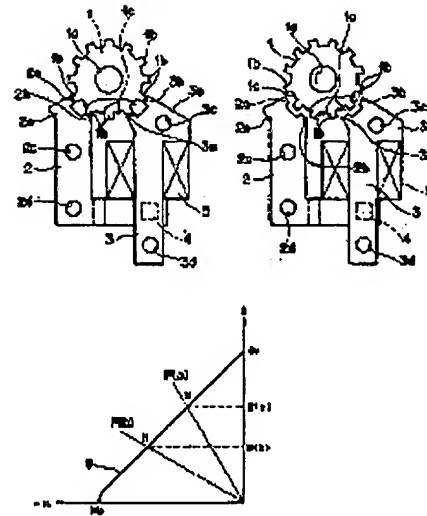
(72)Inventor : OYOKOTA SHIGERU
NIWA MASATAKE
KATAOKA AKIRA

(54) MAGNETIC DETECTOR FOR WORKING AMOUNT

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a magnetic detector for working amount which eliminates the necessity of a power source, improves a detecting precision, and is manufactured at a low cost, by a method wherein a magnetic code plate is located away from a pair of arm parts of a yoke member, where to a permanent magnet is attached, with a space gap arranged therebetween, an inductive voltage is produced at an inducing coil because of a change in a gap as a result of movement of the code plate, and the voltage is processed to detect a working amount.

CONSTITUTION: A code plate made of a magnetic material is pivotably supported by a center axis 1a, and projections 2a, 2b, 3a, and 3b, formed on forward ends of a pair of arm parts 2c and 3e of yoke members 2 and 3 made of the magnetic material, are located in a number of concavities and convexities 1c and 1b, formed in the outer periphery of the code plate 1, so that they are positioned facing and opposite to the parts 1a and 1b with a gap between. If the code plate 1 turns, a magnetic flux changes, and an induction voltage, corresponding to the change rate of the magnetic flux, is generated at an inducing coil 5. Additionally, a peripheral length of the one full convexity 1b is shorter than that of one full concavity 1c, whereby a rapid change in magnetic flux density occurs and an output wave is brought into a sharp peak.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—96212

⑮ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和58年(1983)6月8日

G 01 D 5/20

7905—2F

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 6 頁)

① 動作量の磁氣的検出装置

大阪国際ビルミノルタカメラ株
式会社内

② 特 願 昭56—194306

③ 発 明 者 片岡晃

④ 出 願 昭56(1981)12月2日

大阪市東区安土町2丁目30番地

⑤ 発 明 者 大横田茂

大阪国際ビルミノルタカメラ株
式会社内大阪市東区安土町2丁目30番地
大阪国際ビルミノルタカメラ株
式会社内

⑥ 出 願 人 ミノルタカメラ株式会社

大阪市東区安土町2丁目30番地

⑦ 発 明 者 丹羽正武

大阪国際ビル

大阪市東区安土町2丁目30番地

⑧ 代 理 人 弁理士 青山 蓑 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

動作量の磁氣的検出装置

2. 特許請求の範囲

(1) 動作部材に運動する磁性コード板と、該コード板に空間ギャップを隔てて対向する一対の腕部を有する磁性ヨーク部材と、該ヨーク部材に対して配設され、一方の磁極面一ヨーク部材の一方の腕部一空間ギャップ一コード板一空間ギャップ一ヨーク部材の他方の腕部一他方の磁極面との間で閉ループ磁路を形成する永久磁石と、該閉ループ磁路を形成しているヨーク部材に巻装された誘起用コイルとから成る検出ユニットを備え、上記コード板は、上記各腕部との間の磁気抵抗が該コード板の移動に応じて変動するように形成され、該コード板の移動による磁気抵抗の変動に応じてヨーク部材の磁束密度が変動されて誘起用コイルに脈動状の誘起電圧が発生し、該誘起電圧を制御回路で処理して動作部材の動作量を検出するようにしたことを特徴とする動作量の磁氣的検出装置。

(2) 上記コード板には凸部と凹部とが交互に形成され、上記ヨーク部材の各腕部の少なくとも一方には突起部が形成され、該一つの突起部の対向長さは一つの凸部と一つの凹部の各長さの和よりも短く設定したことを特徴とする特許請求の範囲第(1)項記載の動作量の磁氣的検出装置。

(3) 上記コード板の凸部の長さを、凹部の長さよりも短く設定したことを特徴とする特許請求の範囲第(2)項記載の動作量の磁氣的検出装置。

(4) 上記ヨーク部材の少なくとも一方の腕部に形成された突起部が、複数個で成ることを特徴とする特許請求の範囲第(3)項記載の動作量の磁氣的検出装置。

(5) 上記ヨーク部材には非磁性ヨーク固定部材が一体的に接合され、接合後にヨーク固定部材は切断せず、ヨーク部材の磁路の一部を切断して、該切断部に上記永久磁石の両極面を挿入配設したことを特徴とする特許請求の範囲第(1)項記載の動作量の磁氣的検出装置。

(6) 上記ヨーク部材には高導電密度部となるよ